庄内の風 ㊷

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

もうすぐピカピカの1年生♪ ランドセルもピッカピカ

２月８日(月)から12日(金)、この春町内の小学校に入学する子どもたち全員に、町からランドセルと黄色い帽子がプレゼントされました。

庄内町では、平成21年３月に「子育て応援日本一のまちづくり」を宣言しました。子育ての支援の多さは日本一！このランドセルの贈呈は、山形県内では本町のみが実施しています。

贈呈式では、まだ小さい背中に大きな真新しいランドセルがかけられると、子どもたちはうれしそうに「どうもありがとう」と笑顔いっぱい！新しく始まる学校生活に期待を膨らませている様子でした。そして、その様子を見る保護者のみなさんも笑顔がこぼれ、我が子の成長を喜んでいました。

夢大使 リレー通信 ㊹

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、歌津出身で、歌手として活躍中のまきのめぐみさんです。

夢大使

まきのめぐみさん

(東京都)

ほたて

南三陸町の皆様、元気だっかやーーーーー！

私は、お蔭様で歌手デビュー７年目を迎える事ができました。東京での生活も落ち着いています。そして、南三陸町夢大使の最年少として任命頂き大変うれしく思っています。

さて、ラジオや雑誌の取材で「南三陸町はどんな町ですか？」とインタビューされると、良い所がたくさんありすぎて説明が全部しきれず、メディアにもっと出れるようにがんばらなきゃと思うことが多々あります。町長さんの仙台の知り合いの方に「南三陸町のたこが何故おいしいか、分かりますか？」と聞かれ、恥ずかしながら、分かりませんでした。「簡単に言うと、あわびを餌にしているからおいしいのだ」と説明してくれました。「何ともまぁ。贅沢なたこだこ～～！」って思いました。東京にいても、地元の事を知っておくのは大事な事です。たこの話は、今は自慢気に皆に話しています。

スーパーに行ったら、「めかぶとわかめは南三陸町産ですよ～～！」「たこは、あわびを餌にしているから、味が本当においしいですよ～～～！」地元の方言を交えてアピールすると、興味を持ってくださいます。

おもしろい話なんですが、東京の友人は海がない所で育ったため、海産物はスーパーで食べやすいように売っている物を食べています。わかめとめかぶがくっついてると言うのも知らなかったり、先日殻付きのほたてとカキとわかめを贈ったら、殻付きほたてを初めて見たらしく、たまげたそうです。「貝が空かないし、何だか動いているみたいで怖いし、どうやって、むいたらいいのか？」と電話がかかってきました。私は大笑いしてしまいました。海の町で育った私は見慣れていますが、海を知らない、ましてや生きてる海産物に友人はそりゃびっくりしますよね。動いている気がするではなく、実際新鮮なので動いているんです。その後また電話がありまして、「生まれて初めてあんなおいしいのを食べた」と感動していました。私の地元の食べ物はおいしいおいしいと口で言っても、実際口にしてもらって感動して頂くのは本当にうれしいことであります。

東京の銀座や池袋などでも宮城物産展などが開催されています。「全国の方に宮城県を知って頂き→南三陸町を知って頂く」微力ながらPRしていきます。また、在仙志津川会、在仙歌津会、在京志津川、東京歌津会、南三陸町の祭りなどの会場でも歌わせて頂き、応援して頂き、本当にありがたく思います。皆さんとふれあう事でパワーになり、力になり、プラス思考になり、成功しなきゃと思います。なかなか恩返しができずにいますが、ビックになりましたら町に寄付できるようになりたいです。

観光ネット最前線 ⑫ 汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきた

波伝谷春祈祷のお知らせ

◆**日時**：３月14日(日)
午前６時～ご祈祷（波伝谷文化センター）
午前７時30分～戸倉神社集合
※その後地区の東側から西側へ移動します。
◆**場所**：波伝谷地区内

≪波伝谷春祈祷ってどんな行事？≫

波伝谷契約講によって執り行われる行事で、昔は旧暦２月15日と定められていました。戸倉神社に集まって朝日を遥拝(ようはい)した後、東の村境へ移動し、魔除けの札を立て獅子を舞ってから移動をはじめ、波伝谷地区内を東から西へと、獅子が全戸を廻って家々の悪気を取り込んで行きます。

まず、榊の枝を持った先達(せんだつ)が縁側から入り、塩を撒いて清めながら座敷を通り抜け戸口から出ます。続いて、宮司らが神棚の前で悪魔退散のお札を供えて祈祷を行い、その間に獅子も縁側から入って戸口へと通り抜けます。このとき、各家では必ず豆腐を用意しておき、これを依り代(よりしろ)として家内の悪気を封じ込め、獅子に飲み込んでもらいます。これを繰り返し、日没ころにようやく西の村境にたどり着くと、朝と同様にお札を立ててから海岸へ移動し、石を投げてこれを海に落とすことで集落中の悪気をまとめて海に祓い流します。

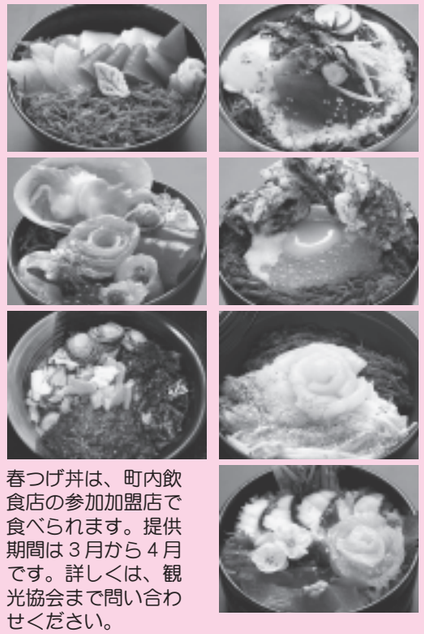
獅子は大きく口を開いて、今日１日溜めに溜めた悪気を吐き出し、以後、翌年の春祈祷まで口を封じた獅子頭は神社に納められます。

●昭和46年に町指定無形民俗文化財に指定
●旧暦２月15日前後に行われる悪魔祓い行事

※駐車場や休憩所などは設けておりません。地区の伝統的な行事ですので、マナーを守り各自でお楽しみください。

新メニューでおもてなし「南三陸キラキラ春つげ丼」登場！

町では、食の魅力で観光客のおもてなしを図るため、地元の旬の食材を活かしたおいしいメニューづくりを奨励しています。この春、好評だった「キラキラいくら丼」に続く第二弾として「キラキラ春つげ丼」が登場します！南三陸町の魅力が、またひとつ増えました。



春つげ丼は、町内飲食店の参加加盟店で食べられます。提供期間は３月から４月です。詳しくは、観光協会まで問い合わせください。

～南三陸キラキラ春つげ丼のルール～

①南三陸町産の旬の魚介を使用！
②南三陸ブランド「春告げやさい」を使用！
③南三陸町産のメカブを使用！

2010シルクフラワーフェスタ

毎年恒例となった「シルクフラワーフェスタ」が今年も開催されます。伊達藩養蚕発祥の地でもある入谷地区ならではのイベントです。期間中はシルク館内の資料室もぜひご覧いただき、南三陸町の歴史に触れてみませんか？

◇日時　３月６日(土)～14日(日) 午前９時30分～午後３時
◇場所　ひころの里「シルク館」
◇内容　繭加工作品展示・即売・繭細工体験（有料）
◇入場料　無料
◇問い合わせ　産業振興課農林業振興係　☎46-1379

インフォメーション　産業振興課観光振興係　☎ 46-1378　FAX 47-2160